

# ◇障害福祉サービス事業所の特色ある 取り組みをご紹介します◇

長崎県CSR通信  
～第127号～

今回は、職人歴50年の手焼きせんべい屋さんとタッグを組んで誕生したカステラせんべいをパッケージの企画から、箱折・箱詰めして販売している就労継続支援B型事業所のご紹介です。

諫早にある居宅生活支援センターケイ.コム様と大村の手焼きせんべい三喜屋様、株式会社昭和堂様にお話を伺いました。

～手焼きせんべい屋さんと福祉施設の強カタッグにプロのアイデアが加わると！？～

○平成24年5月に生活介護、就労継続支援B型、短期入所の多機能型事業所として開設されましたが、現在利用者の方は何名いらっしゃいますか。

居宅生活支援センターケイ.コム  
本田理事長 立川管理者

【本田理事長】

ー生活介護20名、B型7名、短期入所定員4名です。

○今回のカステラせんべい販売に至った経緯は？

ーたまたま、取引のあった金融関係担当者の伯父にあたる方が今回の三喜屋の一ノ瀬さんで、平成26年頃に箱折作業の委託を受けたのがきっかけです。



箱入り 1,280円(24袋入) 手提げ型 450円(8袋入)

○かわいらしいパッケージですが、デザインはどなたのアイデアですか？

ー職員で検討し、昭和堂さんの提案で、焼印、個袋のデザイン、パッケージの形状・デザイン、包装紙等を作製しました。

単品売り(60円)



箱折りの作業風景

○販売している場所は？

ー最初はバザーのみでの販売でしたが、多くの方から「どこで売ってるの？」等の問い合わせが殺到し評判がよかったので、現在では、三浦かんさく市(大村)、もぎたて市(森山町)Aコープ 西諫早地区センター(諫早)等の直売所で販売しています。



利用者の方が作った小物類

○カステラせんべいの他に作られている商品や委託作業はどんなものがありますか？

ーお菓子やチーズケーキの箱折り作業、そうめんやそばの箱作り、利用者の方が描いたイラストをスタンプしたポチ袋、髪留め・ヘアゴム、ビーズ製品等の小物類です。



## ○今後の事業所の取り組みと課題について

ーカステラせんべいについては、価格設定の見直しとパッケージの少量化、それに伴いパッケージの変更も検討中で、販路の拡大についても課題です。

将来的には、県外から来られる観光客の方々にも手に取ってもらえるようなブランド化を目指したいと思っています。

手焼きせんべい三喜屋 一ノ瀬代表

## ○福祉施設との関わりは今回が初めてですか？

【一ノ瀬代表】

ー大村の福祉施設とも関わりがあり、福祉施設という事での不安は全くありませんでした。



## ○カステラせんべいの名前の由来は？

ー普通のせんべいよりも卵を多く使っている事と長崎らしさから名付けました。

## ○せんべい作りにおいて、特にこだわっていることはありますか？

ー材料の配合加減は、その日の気温や湿度によって変えています。原材料にもこだわって、卵は地元の新鮮なものを使用し、着色料も使用していません。

障害のある方々をはじめ、多くの方々と『せんべい』を通じて人と人との『つながり』ができることが私にとって一番うれしいことです。



クーラーのない暑い作業場で1日5,000枚焼き上げます

## ○今回のパッケージデザインで苦労されたことや工夫されたことはありますか？

【昭和堂 森崎様】

ーキャラクターについては、カステラから卵を連想して、利用者の方たちの笑顔をイメージして丸い形にしました。形状は、障害者の方が作業しやすく、買う側も手に取りやすい形にしました。今後も流通面、コスト面も考えつつ利用者の方が意欲をもって作業に取組めるようにサポートしていきたいと思います。



昭和堂 田島様 森崎様

## CSRとは？

Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会的責任」のことです。

障害福祉サービス事業所の取り組みのほか、事業所と取引のある企業や障害者雇用の先進例をご紹介します。

「長崎県CSR通信」 ◆電話095-895-2455

FAX095-823-5082

発行 平成29年8月25日 長崎県福祉保健部障害福祉課

☆バックナンバーは

長崎県CSR通信

検索

カステラせんべいのご注文や事業所へのお尋ね等は下記へお問い合わせください。

居宅生活支援センター ケイコム  
〒854-0063 諫早市貝津町1206-5  
TEL 0957-28-9960